

地域福祉を推進しよう ～支え合う一人ひとりが主人公～

問い合わせ 福祉課 福祉政策係(☎内線363)

地域福祉とは

地域でともに暮らす人々が、性別や年齢、障がいの有無、経済的な格差などに関係なく、お互いに支え合い、助け合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような地域社会を、みんなで築いていく取り組みのことです。

地域福祉の推進のために地域でさまざまな取り組みが行われています。
今回は、子ども食堂の取り組み事例をご紹介します。

① 太宰府いきいき子ども食堂

活動内容

子どもや保護者、高齢者を対象として、毎月第2日曜日の午前11時～午後2時に、いきいき情報センターで開催されています。子どもは無料、大人は200円で昼食を食べることができ、親子で一緒に工作や読書、塗り絵などをして遊ぶことができる「お楽しみコーナー」もあります。

子育て支援や子どもと高齢者の居場所づくりを目的に活動しており、20人前後のボランティアスタッフで運営を行っています。学生のボランティアも参加し、調理やお楽しみコーナーの補助をしています。



インタビュー当日の様子

メニューはタケノコご飯や魚の塩焼きなどで、親子連れや高齢者の皆さんが食事を楽しみました。お楽しみコーナーでは母の日に合わせて、色紙を使ったカーネーションづくりが行われていました。大勢の人が訪れていて、食事の部屋もお楽しみコーナーもたいへんにぎわっていました。

② 太宰府子ども食堂たべりば

活動内容

毎月最終月曜日の午後4時～6時に、坂本地区で開催されています。主に校区の小中学生が参加してカレーなどの夕食を食べるほか、食事ができるまでの時間には、集まった友人や学生ボランティアと遊んだり宿題をしたりして過ごすことができます。

子ども同士が誘い合ってくるなど、各回約40人が参加します。また、参加者にはスタンプカードを配布しており、継続的に参加してもらえるように工夫をしています。



インタビュー当日の様子

みんなで集まって、楽しくカレーや野菜炒めなどを食べていました。食事ができるまではドミノをしたり、宿題に取り組んだりしていました。調理・見守りをするスタッフと一緒に食事の準備を手伝う子どもの姿も見られ、アットホームな雰囲気を感じられる子ども食堂でした。

他にもいくつかの団体が、子ども食堂の活動に取り組んでいます。皆さんも一度、子ども食堂をのぞいてみませんか？ 詳しくは、市ホームページをご覧ください。